

# 区政 Now ! (26年6月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

しあわせ



日頃から荒川区政に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

荒川区では、区民の皆さまが安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備するため、様々な側面から子育て施策に力を入れてまいりました。これらの取り組みもあり、4月には荒川区内の保育所待機児童数が8人と、荒川区で統計を開始して以来最少の値となりました。

5月には荒川区内で14カ所目となる子育てサロンも開設したところであり、今後とも「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので引き続き御支援と御協力をお願いいたします。

## ● 保育所待機児童が統計開始以来最少になりました

- ◇ 平成26年4月の認可保育園入園申込者数は、1,260人と前年と比較し32人増加しましたが、私立認可保育園3園の開設により、入園不承諾者数は219人と59人減少しました。認証保育所や家庭福祉員、平成26年1月開設のグループ型家庭的保育施設の利用者等を除くと、待機児童数は8人と前年より29人減少しました。この数字は、昭和58年の統計開始以降の最少となります。
- ◇ 本年7月には、東日暮里五丁目にグローバルキッズ東日暮里園を開設する予定であり、依然として待機児童がいる地域や保育需要の増加が見込まれる地域につきましては、引き続き対策を行ってまいります。
- ◇ 荒川区では、今後とも保育施設の整備と質の高い保育の提供に努めてまいります。

## ● 商店街の真ん中に子育てママの応援施設がオープンしました

- ◇ 荒川区では、保育園等の入園待機児童解消を図る一方で、在宅で育児をされている保護者と子ども達の支援にも取り組み、日中、親子が自由に時間を過ごすことができる「子育て交流サロン事業」を拡充してきました。
- ◇ 5月16日(金)、おぐぎんざ商店街振興組合(富江満会長)の商店街会館で、「おぐぎんざおもちゃ図書館子育て交流サロン開所式」が行われました。



開所式挨拶の様子



充実したサロン

荒川区内では、14カ所目のサロンとなります。

◇ 「おぐぎんざおもちゃ図書館子育て交流サロン」は、同じ年頃の子どもの持つ保護者同士が気軽に交流し、悩みを相談できる場所であると同時に、おもちゃ図書館の機能も持っており、子どもたちがおもちゃを通じて遊び、交流し、育ちあう場となっています。

主な事業

## ● “日暮里から世界へ” 日暮里ファッションウィーク2014が開催されました

◇ 平成26年5月25日（日）、日暮里駅前イベント広場において、今年で4回目となる「日暮里ファッションウィーク2014」が区の後援により開催されました。

◇ このイベントは、“繊維の街・ファッションの街”である日暮里をさらに盛り上げようと、東京日暮里繊維卸協同組合と東京服飾専門学校との学生のコラボレーションにより行われているものです。



服飾専門学校生によるパフォーマンスの様子



開会の挨拶の様子

◇ 日暮里は、日本で有数の繊維街として知られ、最近は多くのメディアにも取り上げられ、全国から大勢の方が訪れるようになりました。また、京成スカイライナーにより成田一日暮里間が36分で結ばれたことから、諸外国からの観光客も増加しています。

◇ 当日は、東京服飾専門学校の生徒が、日暮里繊維街で購入した布を使用して製

作した独創的な作品が披露され、大きな歓声が響き渡っていました。

## ● TOKYO MXテレビに出演！「あらかわバラの市」などの紹介をしました

◇ 平成26年4月25日（金）、TOKYO MX テレビ「週末めとろポリシャン♪」に出演し、「教えて！ワクワク23区」のコーナーで、ゴールデンウィークに開催された「我楽多市」や5月17日（土）の「あらかわバラの市」など、ホットなイベント情報を交えて荒川区の魅力を紹介しました。

◇ 荒川区では、都電沿線のバラの植栽による緑化事業を積極的に進めています。区内には1万3000株のバラが華やかに咲き誇り、区民の目を楽しませてくれています。

◇ 東京都交通局の協力のもと昭和60年からスタートしたこの事業は、ボランティア団体「荒川バラの会」の皆さまを中心に支えられており、この熱心な活動が高く評価され、平成25年度には、第24回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しています。



あらかわバラの市



都電と満開のバラ